

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.3.01)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)オーベル東林間新築工事	階数	地上6階
建設地	相模原市南区東林間四丁目19番1の一部	構造	RC造
用途地域	中高層住居専用(第1種)準防火地域	平均居住人員	276人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2016年7月17日
敷地面積	2,947 m ²	作成者	株式会社ジムス建築設計事務所
建築面積	1,560 m ²	確認日	2016年7月17日
延床面積	6,091 m ²	確認者	株式会社ジムス建築設計事務所



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み: 63% (116 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の: 63% (116 kg-CO₂/年・m²)

④上記+: 63% (116 kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.8

音環境	3.2
温熱環境	4.8
光・視環境	3.4
空気質環境	3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	3.7
耐用性・信頼性	3.0
対応性・更新性	2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	2.0
まちなみ・景観	2.0
地域性・アメニティ	2.5

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の熱負荷	5.0
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	4.6
効率的運用	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

水資源	2.2
非再生材料の使用削減	2.6
汚染物質回避	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

地球温暖化への配慮	4.4
地域環境への配慮	2.9
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	断熱性能等級 4 を確保し、省エネ対策に努めた。	その他 特になし
Q1 室内環境	断熱等級 4 を確保し、室内環境の向上に努めた。	Q3 室外環境(敷地内) 積極的な植栽を行うことにより、室外環境の向上に努めた。
LR1 エネルギー	断熱性能等級 4 を確保し省エネ性能の向上に努めた。	LR3 敷地外環境 積極的に植栽を行い敷地外環境の向上に努めた。
Q2 サービス性能	特になし	
LR2 資源・マテリアル	特になし	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される